



教育は  
未来へつなぐ  
希望の輪

# 県立高等学校教育推進実施計画 (第2期) 概要版

2020年2月  
愛知県教育委員会

# 県立高等学校教育推進基本計画 (高等学校将来ビジョン) の推進

## 県立高等学校教育推進基本計画

本県の県立高等学校についての10年先を見据えたグランドデザイン

- ◆県立高等学校将来ビジョン検討会議を4回開催(2014年6月から2015年2月)



- ◆パブリックコメントの実施  
(2014年12月~2015年1月)



- ◆基本計画の策定(2015年3月)

＜基本計画の5つの柱＞

- ・グローバル社会で活躍できる人材の育成
- ・キャリア教育と職業教育の一層の充実
- ・魅力ある高等学校教育の基盤づくり
- ・生徒のニーズを踏まえた様々なタイプの高等学校の配置
- ・生徒が減少する地域における対応

基本計画を具体化するために、計画期間を2期に分けて実施計画を策定

実施計画の区分	計画期間
第1期実施計画	2015年度から2019年度まで
第2期実施計画	2020年度から2024年度まで

## 県立高等学校教育推進実施計画

- 第1期実施計画検討委員会(2015年5月から12月)

- ・県立高等学校長、中学校長などによる検討委員会で6回協議を重ね、第1期実施計画案を作成



2016年2月8日教育委員会会議にて第1期実施計画を策定、計画を推進



- 第2期実施計画検討委員会(2018年5月から2019年11月)

- ・県立高等学校長、中学校長などによる検討委員会で8回協議を重ね、第2期実施計画案を作成



2020年2月5日教育委員会会議にて第2期実施計画を策定



- 第2期実施計画の推進及び計画の周知(冊子の配布・Webページへの掲載)

# 1 グローバル社会で活躍できる人材の育成

## (1) 国際理解教育の推進

- ・グローバル人材育成の全県的な拠点校を設置  
〈「国際探究科<sup>1</sup>」の新設〉刈谷北高校（2023年度）
- ・あいちグローバルハイスクール（AGH）<sup>2</sup>の指定  
旭丘高校（2019年度） 時習館高校（2020年度）
- ・「スーパーイングリッシュハブスクール事業<sup>3</sup>」の推進
- ・「イングリッシュキャンプ in あいち<sup>4</sup>」、「イングリッシュ1 Day ツアー<sup>5</sup>」の実施、  
「イングリッシュフォーラム<sup>6</sup>」の充実
- ・生徒の留学支援の拡充
- ・SDGs<sup>7</sup>の視点を踏まえた学びの推進
- ・グローバルな視点を持ってコミュニティを支える「グローバルリーダー育成のための研究」：惟信高校
- ・モデル校を指定した高等学校における外国人生徒を対象とした日本語教育の在り方に関する研究

## (2) 科学技術人材の育成とICT教育の推進

- ・「理数科<sup>8</sup>」の新設：瑞陵高校 岡崎北高校（2022年度）
- ・「理数コース<sup>9</sup>」の新設：春日井高校（2022年度）
- ・理科実験、探究的な学習を実施するために必要な物品の整備
- ・「スーパーサイエンスハイスクール事業<sup>10</sup>」、「あいちSTEMハイスクール研究指定事業<sup>11</sup>」の実施
- ・「科学三昧 in あいち<sup>12</sup>」の取組の充実
- ・生徒がBYOD<sup>13</sup> 機器を含むタブレット端末等を活用して学ぶ授業の研究及び教材の開発
- ・「県立高等学校教育課程課題研究<sup>14</sup>」におけるICTの活用を含めた指導方法の研究
- ・教科「情報」の系統的な研修の実施
- ・学校図書館の取組及び学習・情報センターとしての機能の充実

## (3) 芸術、スポーツなどの分野における個性の伸長

- ・創造力や表現力の育成〈総合学科<sup>15</sup>への「健康スポーツ系列<sup>16</sup>」の設置〉  
豊橋西高校（普通科を総合学科<sup>15</sup>に改編、2020年度）
- ・芸術科の正規採用教員の配置の在り方の研究
- ・STEAM教育<sup>17</sup>の推進

## 2 キャリア教育と職業教育の一層の充実

### (1) キャリア教育<sup>18</sup>の一層の充実

- ・普通科におけるキャリア教育<sup>18</sup>の充実  
〈「企業連携コース<sup>19</sup>」の新設〉守山高校 幸田高校（あわせて全日制単位制<sup>20</sup>への改編、2022年度）
- ・「定時制キャリア教育モデル推進校<sup>21</sup>」の指定：城北つばさ高校（昼間定時制課程）（あわせて総合学科<sup>15</sup>への改編、2023年度）
- ・就労アドバイザー<sup>22</sup>の配置
- ・キャリア教育コーディネーター<sup>23</sup>の配置拡充
- ・就職支援事務嘱託員<sup>24</sup>の配置
- ・「道徳教育推進事業<sup>25</sup>」の実施

### (2) ものづくり愛知を支える職業教育の一層の充実

#### ○ ニーズを踏まえた学科改編、新規事業等

#### ア 農業科・水産科

- ・「あつみ次世代農業創出プロジェクト<sup>26</sup>」：渥美農業高校（2020年度から）
- ・「先端農業技術者育成事業<sup>27</sup>」「GAP認証事業<sup>28</sup>」：安城農林高校（2020年度から）
- ・「スマート林業担い手育成事業<sup>29</sup>」：田口高校（2020年度から）
- ・「水産業6次産業化担い手育成事業<sup>30</sup>」：三谷水産高校（2020年度から）
- ・新しい実習船「愛知丸」の建造の検討

#### イ 工業科

- ・新しい時代にふさわしい学校名（工科高校<sup>31</sup>）への改称（2021年度）

名南工業高校 → 名古屋工科高校	瀬戸窯業高校 → 瀬戸工科高校
春日井工業高校 → 春日井工科高校	小牧工業高校 → 小牧工科高校
一宮工業高校 → 一宮工科高校	起工業高校 → 一宮起工科高校
佐織工業高校 → 愛西工科高校	半田工業高校 → 半田工科高校
豊田工業高校 → 豊田工科高校	岡崎工業高校 → 岡崎工科高校
碧南工業高校 → 碧南工科高校	刈谷工業高校 → 刈谷工科高校
豊橋工業高校 → 豊橋工科高校	豊川工業高校 → 豊川工科高校

※以降「イ 工業科」にある学校名については、改編後の校名を記載する。

- ・専攻科<sup>32</sup>への「工芸デザイン科<sup>33</sup>」の設置：瀬戸工科高校専攻科（2020年度）
- ・産業界のニーズの変化を踏まえた新たな学科・コースの設置  
（豊橋工科高校へのロボット工学科の設置は2020年度、それ以外は2021年度）

学科・コース	設置する学校名
理工科 <sup>34</sup>	愛知総合工科高校
I T工学科 <sup>35</sup>	名古屋工科高校 一宮工科高校 豊田工科高校、 刈谷工科高校
環境科学科 <sup>36</sup>	小牧工科高校 一宮起工科高校 岡崎工科高校 碧南工科高校
ロボット工学科 <sup>37</sup>	瀬戸工科高校 春日井工科高校 一宮起工科高校 愛西工科高校 半田工科高校 豊橋工科高校 豊川工科高校
生活コース <sup>38</sup>	春日井工科高校 小牧工科高校 一宮起工科高校 豊田工科高校 岡崎工科高校 碧南工科高校 刈谷工科高校 豊川工科高校

- ・学科名の変更（2021年度）

変更後の学科名	設置する学校名
情報デザイン科	小牧工科高校 岡崎工科高校 豊川工科高校
建築デザイン科	一宮工科高校 愛西工科高校 半田工科高校 碧南工科高校 豊橋工科高校
都市工学科	一宮工科高校 半田工科高校 岡崎工科高校 豊橋工科高校

- ・募集単位の大括り化（2021年度）

## ウ 商業科

- ・商業高校を三つのタイプに分けた学科改編の検討（2022年度を目途）

I 商業4分野 <sup>39</sup> の専門性を身に付けることができる学科を設置する学校
II 地域の特徴やニーズに対応した学科を設置する学校
III ICTに関する専門性を身に付けることができる学科を設置する学校

- ・地域企業と連携した商品開発の実践と「地域協働ビジネススキルアップ事業<sup>40)</sup>」の実施：

愛知商業高校 中川商業高校 瀬戸窯業高校 春日井商業高校  
 犬山高校 古知野高校 木曾川高校 一宮商業高校  
 津島北高校 半田商業高校 東海商業高校 岡崎商業高校  
 碧南高校 豊橋商業高校 成章高校 国府高校（2020年度から）

## エ 家庭科・看護科・福祉科

- ・海外のファッションやフードに関する学びの研究と「生活産業グローバル人材育成事業<sup>41)</sup>」の実施：

瑞陵高校 古知野高校 一宮高校 佐屋高校 大府高校 桃陵高校  
 岩津高校 安城高校 一色高校 吉良高校 豊丘高校 豊橋南高校  
 成章高校（2020年度から）

- ・生活産業の技術や伝統工芸の文化を継承する教育の推進と「あいちものづくり文化継承事業<sup>42)</sup>」の実施：

古知野高校 一宮高校 大府高校 岩津高校（2020年度から）

- ・望ましい食習慣を身に付けさせるための取組の実施：

瑞陵高校 佐屋高校 松平高校（2020年度から）

- ・5年一貫教育の一層の充実：桃陵高校 宝陵高校（2020年度から）

- ・「グローバル介護人材育成事業<sup>43)</sup>」の実施：

古知野高校 海翔高校 高浜高校 宝陵高校（2020年度から）

- ・「高大連携介護力スキルアップ事業<sup>44)</sup>」の実施：高浜高校（2020年度から）

## ○ 職業学科の魅力の発信／実習用施設・設備の充実

- ・産業教育PRのための出展やステージ発表などを通じた職業学科の魅力発信
- ・次期産業教育設備整備計画の基本方針の策定（2020年度）

## ○ 他学科・異校種との連携

- ・新しいタイプの総合専門高校<sup>45)</sup>の設置についての研究
- ・普通科の生徒が職業学科の教員のジョブ・シャドウイング<sup>46)</sup>等を行う体験活動の実施
- ・モデル校を設定した学科連携型の教育課程の開発
- ・より多くの生徒が看護や福祉の道を選択することができる方策の検討
- ・実習や学校行事等を通じた特別支援学校との交流及び共同学習の取組の推進

### 3 魅力ある高等学校教育の基盤づくり

#### (1) 教員の指導力向上と様々な学びの機会の充実

- ・「主体的・対話的で深い学び<sup>47</sup>」の研究事業  
2020年度から2024年度までの5年間で全県立高校を順次、研究指定  
研究指定校の視聴覚室や図書館等をアクティブ・ラーニングルーム<sup>48</sup>として整備
- ・5年経験者研修及び10年経験者研修を見直し、「中堅教諭等資質向上研修<sup>49</sup>」として再構築
- ・研修の受講状況を管理するシステムの導入の検討
- ・マネジメント力向上プログラムの実施の検討
- ・OJT<sup>50</sup>の進め方に係る研究の実施
- ・再構築した研修計画に基づく効果的な研修の実施
- ・各種研究校の合同成果発表会の充実及び指導力の向上に資する研究成果等の積極的な発信
- ・地域社会との連携・協働による魅力ある教育活動の促進
- ・県立高校の特色ある取組や魅力を県民に広く発信
- ・高校と特別支援学校、中学校と高校との人事交流の推進
- ・「あいちの学校連携ネット<sup>51</sup>」の充実及び「高大連携コーディネーター<sup>52</sup>の配置」の検討
- ・教育コース<sup>53</sup>の成果を検証し、その成果を広く発信

#### (2) ICT環境及び安全な施設・設備の充実

- ・特別教室を含む全教室へのプロジェクタの配備
- ・視聴覚室や図書館等をアクティブ・ラーニングルームとして順次整備することを検討
- ・「県立学校施設長寿命化計画<sup>54</sup>」を踏まえた改修や改築

## 4 生徒のニーズを踏まえた様々なタイプの高等学校の配置

### (1) 総合学科<sup>15</sup>の新たな設置と普通科の活性化

- ・総合学科<sup>15</sup>の新設：豊橋西高校（あわせて「健康スポーツ系列<sup>16</sup>」の設置、2020年度）、城北つばさ高校（あわせて「定時制キャリア教育モデル推進校<sup>21</sup>」の指定、2023年度）
- ・総合学科<sup>15</sup>を中心とした教育課程及び施設・設備の現状と課題の検証、教育課程の見直しや施設・設備の更新
- ・「国際探究科<sup>1</sup>」の新設：刈谷北高校（2023年度）【再掲】
- ・「理数科<sup>8</sup>」の新設：瑞陵高校 岡崎北高校（2022年度）【再掲】
- ・「理数コース<sup>9</sup>」の新設：春日井高校（2022年度）【再掲】
- ・「観光ビジネスコース<sup>55</sup>」の新たな設置の検討：足助高校
- ・「医療・看護コース<sup>56</sup>」の新たな設置の検討：成章高校
- ・普通科のコース<sup>57</sup>の教育課程の見直しや施設・設備の更新、コース改廃等の検討
- ・教育コース<sup>53</sup>の成果の検証及び地域のバランスを考慮した新たな設置の検討
- ・中央教育審議会答申を踏まえた普通科の在り方を改めて検討

### (2) 多様な生徒のニーズに応える学校づくり

- ・全日制単位制<sup>20</sup>高校への改編：守山高校 幸田高校  
（あわせて「企業連携コース<sup>19</sup>」の新設、2022年度）
- ・昼間定時制課程の新設及び定員増の検討
- ・旭陵高校通信制サテライト施設<sup>58</sup>の設置：  
名古屋西高校 小牧高校（2022年度）
- ・「定時制キャリア教育モデル推進校<sup>21</sup>」の指定：城北つばさ高校（昼間定時制課程）  
（あわせて総合学科<sup>15</sup>への改編、2023年度）
- ・就労アドバイザー<sup>22</sup>の配置【再掲】
- ・遠隔教育<sup>59</sup>の研究
- ・通級指導<sup>60</sup>の実施校の新たな設置：福江高校（2020年度）
- ・高校と特別支援学校の人事交流の推進による高校の教員の専門性の向上
- ・「外国人生徒等選抜<sup>61</sup>実施校」の拡大：岩倉総合高校 知立高校（2020年度）
- ・「外国人生徒教育支援員<sup>62</sup>」の配置拡大
- ・スクールカウンセラー<sup>63</sup>（SC）、スクールソーシャルワーカー<sup>64</sup>（SSW）の配置拡充：〈SSWの新たな拠点校の設置〉東浦高校（2020年度）
- ・連携型中高一貫教育<sup>65</sup>校の新たな設置の検討



## 5 生徒が減少する地域における対応

- 東三河の活性化や将来の担い手育成

学科・普通科のコース <sup>57</sup> の新設 <b>【一部再掲】</b>	<b>豊橋西高校</b> （総合学科 <sup>15</sup> 、2020年度） <b>豊橋工業高校</b> （ロボット工学科 <sup>37</sup> 、2020年度） <b>成章高校</b> （医療・看護コース <sup>56</sup> ）新設の検討
特色ある教育活動の 実施 <b>【一部再掲】</b>	<b>時習館高校</b> （「あいちグローバルハイスクール <sup>2</sup> 」の指 定、2020年度） <b>渥美農業高校</b> （「あつみ次世代農業創出プロジェクト <sup>26</sup> 」 の実施、2020年度から）

- 地域課題の解決等を通じた探究的な学びの充実：

**加茂丘高校 足助高校 福江高校 新城東高校作手校舎 田口高校**

- コミュニティ・スクール<sup>66</sup>設置の検討
- 山間へき地におけるICT技術の効果的な活用及びスマート林業推進のための学  
 びの充実に向けた研究：**田口高校**
- 全県的な学校配置の具体的な構想について、第2期実施計画期間中に検討し、次  
 期計画に反映



# 用語集

- 1 **国際探究科**：専門教科・科目を 25 単位以上履修する専門学科「国際関係に関する学科」の一つ。国際社会で求められる豊かな教養、高い知性、たくましい実践力を備え、優れた国際感覚、課題解決能力、探究心を身に付けた、広く社会に貢献できる人材を育成するための教育を実践する。刈谷北高校では、グローバル企業が集積する地域の特性を生かし、グローバル人材育成の拠点校となることを目指し、特色ある教育課程を研究する。
- 2 **あいちグローバルハイスクール（AGH）**：スーパーグローバルハイスクール（SGH）の成果を踏まえ、他の県立高校とも連携して国際的教養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーや地域と国際社会との架け橋となる人材の高校段階からの育成を目指す本県独自の事業。旭丘高校と時習館高校を指定。
- 3 **スーパーイングリッシュハブスクール事業**：県内 12 地区でそれぞれ先進的英語教育の拠点となる高校を指定して、英語をコミュニケーションの道具として高いレベルで使いこなす人材の育成を目指し、併せて、その成果を県内の高校及び小・中学校に普及・還元することで、本県全体の英語力の向上を目指す事業。地区ごとに研究授業を含む研修を行っている。
- 4 **イングリッシュキャンプ in あいち**：さまざまな国の人たちとオールイングリッシュによる共同生活を送ることで、英語に対する自信と興味・関心を高め、異文化体験を通して相互理解の大切さを学ぶ県の事業。
- 5 **イングリッシュ 1 Day ツアー**：さまざまな国の人たちとオールイングリッシュによる日帰りバスツアーに参加することで、英語に対する自信と興味・関心を高め、異文化体験を通して相互理解の大切さを学ぶ県の事業。
- 6 **イングリッシュフォーラム**：「イングリッシュキャンプ in あいち」、「高校生海外チャレンジ促進事業（短期留学等の費用を助成する本県独自の制度）」に参加した生徒による発表、拠点校の教員及び生徒による学校の取組についての発表等により、スーパーイングリッシュハブスクール事業の成果を県立高校へ普及する成果発表会。
- 7 **SDGs（エスディーゼズ（Sustainable Development Goals））**：2015年の国連サミットにおいて全会一致で採択された2030年を年限とする17の国際目標（「貧困をなくす」、「飢餓をゼロに」、「人々に保健と福祉を」、「質の高い教育をみんなに」等）。持続可能で、多様性と包摂性のある社会実現を目指す。
- 8 **理数科**：専門教科・科目を 25 単位以上履修する専門学科の一つ。実験・実習等を通してより高度な理科的・数学的な見方・考え方を学ぶことで、理数教育を充実し、科学技術開発を担う人材の育成を目指す学科。
- 9 **理数コース**：コスモサイエンスコースの成果を生かし、理数に関する科目の充実を図ることにより、将来の科学技術開発を担う科学的素養を身に付けた人材の育成を目指すコース（※普通科コースは注釈 56 を参照）。
- 10 **スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業**：高校等の理数系教育に関する教育課程等の改善に資する実証的資料を得るため、研究開発を行う高校等をスーパーサイエンスハイスクールに指定し、併せて、将来の国際的な科学技術関係人材の育成や高大接続の在り方の検討の推進を図る事業。
- 11 **あいちSTEMハイスクール研究指定事業**：本県の「ものづくり産業」を維持・発展させていく優れた科学技術力をもった人材を育成するため、研究指定校を設置し、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）の4分野（STEM）に重点を置き、教科横断的に学ぶ教育課程を研究開発する事業。
- 12 **科学三昧 in あいち**：生徒による研究の口頭発表やポスター発表、また、大学、研究機関及び企業等による情報発信やワークショップなどを行い、スーパーサイエンスハイスクール（S

S H) の事業をはじめとする科学技術に関わる先進的教育活動の成果を普及・還元する発表会。

- 13 **BYOD (Bring Your Own Device)** : 自分で持っている機器を学校に持ち込んで使用すること。
- 14 **県立高等学校教育課程課題研究** : 県教育委員会から委嘱を受けた研究員による、高校の教育課程に関する実践的な研究。
- 15 **総合学科** : 普通科、専門学科に並ぶ学科で、普通科と専門学科の教育内容を併せもち、幅広い選択科目の中から、生徒が自己の興味・関心に基づき主体的に科目を選択し、学習する。進路希望に応じた系統的な学習ができるようキャリア教育が充実しており、将来についてしっかり考え、進路選択をすることができる力の育成を目指す。
- 16 **健康スポーツ系列** : 体育分野の基礎知識を身に付け、人間生活を衣食住や運動、健康面から学び、看護やリハビリなどの分野で生涯学習社会に適應できる資質・能力の育成を目指す豊橋西高校が設置する系列。  
(参考)〈系列〉生徒の興味・関心や能力、適性、卒業後の進路希望に合わせて科目を選択する目安になるように、相互に関連の深い、いくつかの科目をまとめたグループ(科目群)のこと。
- 17 **STEAM教育** : STEM教育に芸術(Art)やデザインの分野等を加えた、実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育。
- 18 **キャリア教育** : 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達(社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程)を促す教育。
- 19 **企業連携コース** : 地域産業界と連携したインターンシップや実習を行い、単位認定する教育システムを導入することにより、地域企業の即戦力となる人材の育成を目指すコース。
- 20 **単位制** : 学年による教育課程の区分がなく、生徒が自らの興味・関心や進路希望等に応じて履修する科目を選択し、3年間の修得単位数の合計が、卒業に必要な単位数を満たせば卒業が認められる。
- 21 **定時制キャリア教育モデル推進校** : 定時制課程における生徒の社会的・職業的自立を促すための研究を進め、その成果を普及する本県独自のモデル校。
- 22 **就労アドバイザー** : 外国人生徒等、特別な事情をもつ生徒の卒業後の正規雇用の就労先を開拓するため、定時制高校を中心に配置する人材。
- 23 **キャリア教育コーディネーター** : キャリア教育に関する専門的な技術、手法、情報、経験などをもち、学校と企業との橋渡し役として、インターンシップの受入れ先の開拓・連絡調整、社会人講師による講演会の企画・運営等を行い、高校におけるキャリア教育を支援する人材。
- 24 **就職支援事務嘱託員** : 各地域の就職支援を推進するため、求人情報の整理や就職あっせんのためのコーディネートを行う人材。
- 25 **道徳教育推進事業** : 「あいちの人間像」の実現を目指し、道徳教育や地域貢献活動、交流活動等を通して、多様な価値観を認めながら自らを高め社会に役立つことのできる人材の育成を目指す県の事業。
- 26 **あつみ次世代農業創出プロジェクト** : 田原地域の特産品を活用した商品開発、環境に配慮した農業を実践し、地域の農業後継者を育成する事業。
- 27 **先端農業技術者育成事業** : 水田・露地栽培センサーや牛の発情検知センサーなどのIoT、ICT技術設備を導入するとともに、先端農業を実施している企業等と連携し、次世代農業にチャレンジする人材を育成する事業。

- 28 **GAP 認証事業**：食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理に取り組む農場に与えられる GAP 認証の取得を通して、農業の持続可能性の確保、競争力の強化、品質の向上、農業経営の改善や効率化について学び、信頼される農業の担い手を育成する事業。
- 29 **スマート林業担い手育成事業**：ドローンによる森林環境調査や伐採場所の特定など、IoT を活用したスマート林業に関する教育を導入することで林業科の魅力化を図り、時代の変化に対応した林業従事者を育成する事業。
- 30 **水産業6次産業化担い手育成事業**：実習で収穫した水産物などの商品開発等とおした地元企業との協働による研究活動や体験活動、グローバルな資源管理やローカルな里海の環境保全に関する教育活動を通して、グローバルな水産業の担い手を育成する事業。
- 31 **工科高校**：「工学」と「科学」を融合した名称であり、ものづくりの「工（たくみ）」だけでなく、科学的にもものづくりを理解し、Society5.0 と呼ばれる超スマート社会の技術革新にも対応できる若者の育成をめざす高校。
- 32 **専攻科**：高校3年間の課程（本科）を修了した者などを対象として、本科での専門学科に関する学習を深め、高度な技術・技能の習得や資格取得など、より高いレベルの専門教育を行うことを目的とした課程。
- 33 **工芸デザイン科**：高校の工芸及びデザインに関連する学科で習得した知識・技術・技能の深化を図り、陶磁器、木材、金属、プラスチック製品の造形、都市や建築物、室内などの空間設計に関する高度な知識・技術の習得を目指すとともに、工芸やデザインの産業現場で即戦力として活躍できる人材及び工芸やデザイン分野の研究者として産業の発展に寄与できる資質をもつ人材を育成する学科。
- 34 **理工科**：ものづくりを科学的・工学的な視点から理解し、実験・実習を通して理数工学に関する高度で実践的な知識・技術を身に付け、ものづくり企業の技術開発者や理工系大学を目指すテクノロジストを育成する学科。
- 35 **IT工学科**：AI・IoT を活用した自動運転システムや生産システムなどの先端技術に関する知識・技術を身に付け、急速にデジタル化が進むものづくり現場の即戦力となる IT 人材を育成する学科。
- 36 **環境科学科**：環境にやさしい工業製品の品質保証や試験・分析に関する知識・技術を身に付け、「SDGs 未来都市」である本県のものづくり産業の発展に貢献できる人材を育成する学科。
- 37 **ロボット工学科**：ロボットの設計・製造・制御に関する知識・技術・技能を身に付け、ロボットを活用する産業の技術者・技能者として活躍するための創造力と即戦力を兼ね備えた人材を育成する学科。
- 38 **生活コース**：ものづくり企業で活躍している女性から直接指導を受けるとともに、全学年を通して家庭科などの生活に関連する科目を履修し、ものづくりを生きていく活動の糧として、企業で活躍できる女性人材や男女共同参画を促進する人材を育成する工業科のコース。

（参考）〈職業学科のコース〉

専門教育を主とする学科には、「農業」や「工業」、「商業」などの専門分野に関する学科（大学科）があり、その中に小学科（工業に関する学科の場合、「機械科」や「電気科」など）を設置している。さらに、同じ小学科の中に、生徒の関心領域に応じた特定の実習内容や科目群を設定する場合を「コース」としている。

- 39 **商業4分野**：①マーケティング分野、②マネジメント分野、③会計分野、④ビジネス情報分野の4分野。

- 40 **地域協働ビジネススキルアップ事業**：地域企業と連携し、現実の経済社会で行われている実際のビジネスを学びの対象とした実践的・体験的な学習活動を行うことにより、ビジネススキルや起業家精神を身に付ける事業。
- 41 **生活産業グローバル人材育成事業**：世界的に活躍している人やグローバルに展開している生活関連企業の担当者などから直接指導を受け、将来、世界で活躍できるファッションリーダーとなる人材を育成する事業。
- 42 **あいちものづくり文化継承事業**：地域の商工会議所と連携し、繊維産業の見学や現場実習等を行い、地場産業である繊維産業を支える人材を育成する事業。
- 43 **グローバル介護人材育成事業**：県内のEPA（Economic Partnership Agreement＝経済連携協定）介護福祉士候補者の受入を行っている福祉施設などにおいて、外国人と直接触れ合い、言葉の枠を越えた交流活動を行い、将来、国籍の違う介護職員を束ねることができる人材を育成する事業。
- 44 **高大連携介護カススキルアップ事業**：福祉系の大学や専門学校と連携し、介護現場で導入が進む介護ロボット等のしくみや操作方法を習得し、時代とともに進歩する介護機器に対応できる人材を育成する事業。
- 45 **総合専門高校**：農業、工業、商業などの職業に関する複数の専門学科（大学科）を設置する総合的な専門高校。入学段階は一括募集であり、2年次からは希望に応じて専門学科を選択することができる。
- 46 **ジョブ・シャドウイング**：生徒が仕事をする人に影のように張りついて同行し、どのような仕事をしているかを観察して学ぶ職業教育に関する体験活動。
- 47 **主体的・対話的で深い学び**：生徒が各教科・科目等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう過程を重視した学習のこと。今回の学習指導要領改訂のポイントの一つ。
- 48 **アクティブ・ラーニンググループ**：課題研究やディスカッション、プレゼンテーションなどの生徒による能動的な学習（いわゆるアクティブ・ラーニング）を実施するために必要なプロジェクトやスクリーン等を常設した教室。
- 49 **中堅教諭等資質向上研修**：県立高校等の教諭に対して、個々の能力、適性等に応じて、県立高校等における教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図るために必要な事項に関する研修。
- 50 **OJT（On-the-Job Training）**：日常の業務を遂行する中で、教師としての資質・能力を、意図的・計画的・継続的な視点を持ち、高めるための取組。
- 51 **あいちの学校連携ネット**：県教育委員会が大学と連携し、高校生に大学の教育に触れる機会を提供したり、大学生が小・中学校の学校現場で子どもたちの学びを支援したりする取組などを推進し、教育の質の向上を目指す仕組み。平成24年3月から運用している。
- 52 **高大連携コーディネーター**：愛知科学技術教育推進協議会に参加している高校において大学や研究機関との単位認定協定の推進を図るなど、円滑な高大接続に向けて配置する人材。
- 53 **教育コース**：教員になることを志す生徒を対象に、地元の小中学校や教育大学等との連携のもと、教育や教員の仕事についての学習やボランティア活動等を通じて、教師として必要な資質・能力の育成を目指すコース。
- 54 **県立学校施設長寿命化計画**：2019年度から2029年度までの11年間を計画期間として愛知県教育委員会が所管する高校及び特別支援学校を対象に、老朽化対策を軸とし、基本的な方針

に基づく実際の整備内容や時期、費用等を具体的に表す計画。安全・安心の確保を最優先に学校施設の中長期的な維持管理等にかかるトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設に求められる機能・性能を確保すること等を目的とする。

- 55 **観光ビジネスコース**：観光に関する分野についての知識と技術の習得を目指すとともに、ホスピタリティ（おもてなし）の精神を育てるために、地元観光産業と連携したり街歩きマップを作成したりするなど体験的な学習を重視した教育課程を編成し、観光産業全般で活躍できる力の育成を目指すコース。
- 56 **医療・看護コース**：将来医療や看護の分野に進もうとする生徒を対象に、大学・専門学校や病院との連携のもと、医療・看護の仕事についての学習や体験的な活動を取り入れ、社会に貢献できる医療・看護者の育成を目指すコース。
- 57 **普通科のコース**：県教育委員会が普通科の一部に特色ある教育課程を特別に設けるもの。生徒は、自身の興味・関心に合わせて体験的・実践的な学習を多く取り入れた選択科目を3年間で10単位～18単位程度履修する。
- 58 **通信制サテライト施設**：通信制課程で学ぶ生徒が、スクーリング実施日でない平日に自校以外の場所で学習するための施設。
- 59 **遠隔教育**：距離に関わりなく相互に情報の発信・受信のやりとりができる遠隔システムを効果的に活用した教育活動。
- 60 **通級指導**：通常の学級に在籍する障害のある生徒が、大部分の授業を通常の学級で受けながら、障害に応じた特別な指導を特別な場（通級指導教室）で受ける指導形態。高校においては平成30年度から制度化された。
- 61 **外国人生徒等選抜**：外国籍を有し、小学校第4学年の以上の学年に編入学した者若しくは第3学年以下の学年に編入学し、特別な事情があると認められる者又は入国後の在日期間が6年以内の者等を対象とする特別な入試。学力検査は国語、数学、外国語（英語）の基礎的な内容とし、漢字にはルビを付している。面接は個人面接で行う。
- 62 **外国人生徒教育支援員**：日本語によるコミュニケーション能力が十分に身に付いていない外国人生徒等を対象に学習活動や学校生活を言語の面でサポートする支援員。
- 63 **スクールカウンセラー**：小・中・高校に配置された心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する外部人材。
- 64 **スクールソーシャルワーカー**：高校や特別支援学校に配置された社会福祉等に関して高度に専門的な知識・経験を有する外部人材。
- 65 **中高一貫教育**：中学校と高校の6年間を接続し、6年間の学校生活の中で計画的・継続的な教育課程を展開することにより、生徒の個性や創造性を伸ばすことを目的として、平成11年度から導入された制度。次の3つの実施形態がある。
  - (1) 中等教育学校：同一の設置者が一つの6年制の学校として運営する。
  - (2) 併設型中高一貫教育：同一の設置者が中学校・高校を併設する。
  - (3) 連携型中高一貫教育：異なる設置者間でも実施可能な形態であり、中学校と高校が教育課程の編成や教員・生徒間交流等の連携を深める。
- 66 **コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）**：学校と地域の連携を深めるため、学校の運営に地域住民等が参加する仕組み。学校運営協議会は、校長が作成する学校運営の基本方針を承認したり、学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べたり、教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べたりすることができる。







愛知県教育委員会

(高等学校教育課)

〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電 話 052-954-6787 (ダイヤルイン)  
F A X 052-961-4864